

お部屋まるごと 接触感染対策

壁紙の上に塗るだけで驚きの効果を発揮

喰
塗料

内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

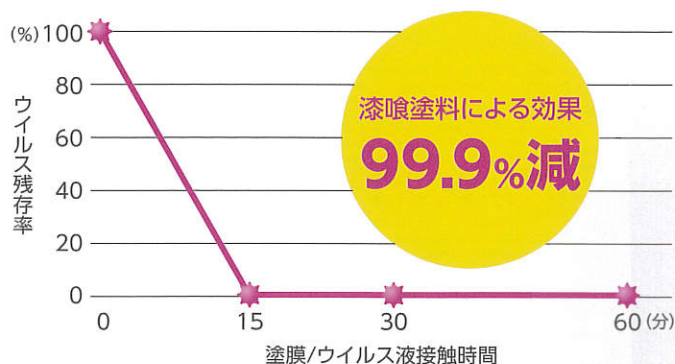
アレスシッコイ

自然素材のしっくい(消石灰)で作った抗菌・抗ウイルス塗料

■ 国立大学法人 長崎大学 熱帯医学研究所との検証実験

付着したウイルス・細菌の増殖を抑える
効果が認められています

香港型インフルエンザウイルス(H3N2)に対する抗ウイルス試験
長崎大学熱帯医学研究所での実験結果



※本品はウイルス増殖抑制機能を有しますが、感染対策を保証するものではありません。
※「抗ウイルス試験」は新型コロナウイルスに対する試験結果ではありません。

壁・天井用
塗るタイプ



KANSAI
PAINT

ウイルス研究の第一人者でもある安田二郎教授と
アレスシッコイの抗ウイルス効果の検証を行いました。



国立大学法人 長崎大学
熱帯医学研究所 新興感染症学分野
安田 二郎 教授



◀ インタビューの詳細い
内容はこちらから



接触感染対策に、しっかり手洗いをしましょう!!



アレシクイ
関連商品
シートタイプ

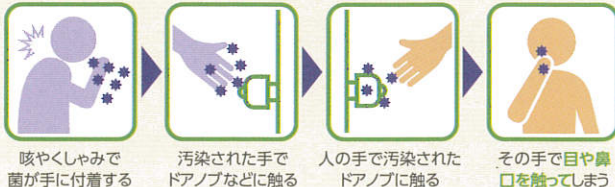
ウイルスが付着しやすいドアノブ・手すりに

接触感染 対策シート

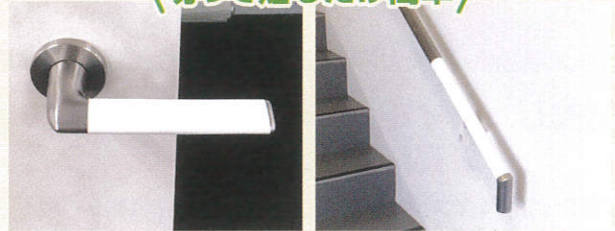


油断しやすい接触感染

静かに…確実に…ウイルスは近づいています!



切っただけ簡単!



アレシクイ 施工上の注意事項

【塗装時の注意事項】●シーラーレスでの施工は行わず、均一にしっかり塗りこむようにしてください。
●上塗りの先行刷毛塗りを行う際は、ナイロン刷毛を推奨いたします(獣毛刷毛を使用すると刷毛が直ぐに劣化します)。●上塗り用のローラーは、「WAKABA<大塚刷毛製造(株)>」、「ハイブリッドローラー<好川産業(株)>」または、「アレシクイ専用ローラー<(株)カンパビオ>」を推奨します。●ローラーは使用前に十分に余り毛を除去してください。●上塗り(1回目)は、均一にEP塗りの感覚で塗装してください。●上塗り(2回目)は、ローラーに塗料をたっぷり含ませ、棒塗りで仕上げてください。●上塗り(2回目)は、下塗膜の影響が乾燥が早いので、手早く仕上げるようにしてください。何度もローラーで擦ると艶が変わったり、肌荒れしたりと仕上がりを悪くする要因となります。●上塗り(2回目)を塗装する際は、棒塗りで仕上げると塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装してください。●本品は、補修性が悪いので施工の際は十分にご注意ください(EP塗りと同レベルの補修塗りはできません)。●万能ガン塗料のカップなど、アルミ製の塗装用具を用いる場合は、塗料が固着し落ちにくくなりますので、作業を中断する時などは、丁寧に用具の洗浄を行ってください。●他の塗料との混合は絶対に行わないでください。●塗装時及び塗装後に高湿度環境下に置かれると、本来の仕上がりと、機能を損なう恐れがありますので避けてください。
【下地調整】●ボード継ぎ等の段差は、パテ等を用いて適切な処理を行い平滑にしてください(パテは十分に乾燥させてください)。●クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のメクレなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください(処理が不十分な場合、仕上がり塗膜に影響を及ぼす事があります)。●被塗物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分に汚れを除去し、よく乾燥させてからシーラーを塗付してください(本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いのでご注意ください)。
【養生等】●施工面以外に塗料が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。●塗装後早い時期に養生を除去してください。●アレシクイ施工面に養生テープを貼る場合(逆養生)は「車両用マスクテープ」No.7239(白樂電工社製)をご使用ください。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、アレシクイ施工面に転写されるおそれがあります。
【材料の保管運搬】●現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、

高温(40℃以上)低温(5℃以下)での保管は避けてください。●下塗り(シーラー)及び上塗り材は希釈上水を添加後、必ずハンディミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。
【その他の注意事項】●低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けてください。●モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下pH10以下になるまで十分乾燥させてください。●布クロスには塗装しないでください。●本品取り扱い中は、十分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください(光沢ムラが発生する場合があります)。●本品取り扱い中は、皮膚に付着しないように専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります)。●コーヒャー器油などの液体汚れが付着しやすい場所に施工する場合は、オプションとして「アレシクイEZクリーン(白専用)」をご使用ください(弊社係員までお問い合わせください)。●子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないようご注意ください。●その他、詳細は施工要領書をご参照ください。
【施工後の注意事項】●本品を内装仕上げ材として使用する場合、通常のEP塗膜に比べ消臭機能での優位性はありますが、表面への汚れ(ヤニ汚れや皮脂による汚れ)付着は同程度となります。●施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラニンスポンジなどを用いて軽く水拭きするか、#400程度のサンドペーパーを用いて当該部位を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰と一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防塵マスクなどの保護具を着用してください。●施工後の塗膜表面に醤油やコーヒャー・お茶など液体の飛沫が付いた場合、通常のEP塗膜などに比べ、性状上吸い込み易く塗膜内部まで浸透してしまつため、中性洗剤や水拭きによる汚れの除去は困難です。この場合、簡易養生・研磨の上、本品を用いて1~2回補修塗りを行ってください(但し、補修塗りの部位の艶感や肌が変わりますのでご注意ください)。なおオプションとして「アレシクイEZクリーン(白専用)」仕様がございます(弊社係員までお問い合わせください)。●「アレシクイEZクリーン(白専用)」を塗装した面を衣類などで強く擦ると、粉化物が付着する場合がありますのでご注意ください。●タバコや線香の煙成分にて塗膜が着色する場合がありますのでご注意ください。

アレシクイ ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。
取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚部に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒解ください。

(20年05月PKO)